

「浅水代かき実践会」(JA高知県南国市稲作部、営農経済センター主催)

日 時： 令和2年3月24日(火)

場 所： 南国市かざぐるま市付近圃場

参加者： 約20名(JA高知県土長地区稲作部水稻生産者、JA高知県土長地区職員、物部川清流保全推進協議会関係者(中央東農振、山田堰井筋土地改良区、物部川21世紀森と水の会、渡邊会長等))

内容

物部川清流保全推進協議会の「代かき濁水対策を進めるワーキング」では、水稻の生産者に代かき濁水の現状と対策を理解してもらうことが重要であるとして、各関係機関による広報に加えて、啓発チラシの配布や各種会議での周知などの広報活動を展開しています。

JA高知県南国市稲作部及びJA高知県南国营農経済センターの主催により、水田濁水対策として「浅水代かき実践会」が3月24日に開催されました。

はじめに、浅水代かきの実施方法や代かき用ハローに関して説明があり、その後、実演講習がありました。

物部川流域だけでなく、取組が県内に徐々に広がっていくことが期待されます。

「濁水対策を進めるワーキンググループ」では今後も、こうした取組を通じて、ひとりでも多くの方にご理解・ご協力いただけるよう啓発活動を続けていきます。

〈当日の様子〉



浅水代かきの実践①



浅水代かきの実践②



代かき前後の様子

<p>ポイント 1 土壌流出防止</p> <ul style="list-style-type: none">▶畦周りの点検、補修▶排水口への止水板等を設置▶強制落水しないように注意 <p>※水止め効果があれば、板でなくてもOK</p> <p>貴重な土壌の流出防止</p>	<p>ポイント 2 水管理・浅水代かき</p> <ul style="list-style-type: none">▶代かき前の入水量は「土が7~8割程度見える状態」▶減水量を考慮した必要量の入水 <p>水資源の保護</p>
--	---

浅水代かきで期待される効果

- ▶田面の均平が取りやすく、生育ムラの減少や除草剤の効果発揮につながります
- ▶不要な落水やオーバーフローが防げ、貴重な土壌の流出が少なくなります

濁水軽減対策のポイント